

TIC NEWS

vol. **95**
2010.4

(財)とやま国際センター
〒930-0856 富山市牛島新町5-5
インテックビル4F (タワー111)
TEL (076) 444-2500
FAX (076) 444-2600
E-mail : tic@tic-toyama.or.jp
URL : http://www.tic-toyama.or.jp



多文化共生理解教室 入善町にて

～多文化共生理解教室～

平成21年度は、高岡市、砺波市、入善町の3会場で開催しました。地元に住む在住外国人を講師に、出身国文化について理解を深めました。

多文化共生理解教室

富山県の外国人登録者数は、平成21年12月末現在で、76カ国、14,237人です。地域には、様々な文化や習慣をもつ外国人の方々が多く住んでいます。

とやま国際センターでは、地域の多文化共生を推進する一助として、地域に住む外国人住民の方が講師となる「多文化共生理解教室」を県内各地で開催しています。

今回、砺波市と入善町でこの教室を開催しました。「海外の文化が少し理解できた」「これから街であつたら声をかけることができる」など、多文化共生への第一歩となる感想が多く聞かれました。



オマール・ホセ・マルティネスさん（正面右）

【砺波市】

開催日：平成22年2月20日（土）

テーマ：「ニカラグアの文化を理解する」

講師：オマール・ホセ・マルティネスさん

会場：砺波市太田公民館

参加者：45人

【入善町】

開催日：平成22年2月28日（日）

テーマ：「カナダの文化を理解する」

講師：マーティン・ルック・ゲエイさん

会場：入善町6区公民館

参加者：14人

日本語教室運営アドバイザー派遣事業

平成21年度から開始した日本語教室運営アドバイザー派遣事業。富山県内の日本語ボランティアグループが主体になって運営している日本語教室に、日本語指導に関する専門的な知識を有する日本語教室運営アドバイザーを派遣しました。

2月28日（日）、黒部市国際文化センターで行われた“日本語教室 in 黒部”では、“入門レベルの学習者への日本語指導”をテーマにアドバイジングが行われました。

今日のテーマ、目標をボランティア間で打ち合わせた後に、実際のボランティアによる日本語指導が行われ、教室終了後にはアドバイザーからの助言がありました。ボランティアさんからの「覚えて欲しい例文を意識しすぎると話題をスムーズに深めていくことが難しい」などの悩みに対しては、「時間を考えすぎて急ぎ過ぎないこと」とのアドバイスが。また書く練習を盛り込む際に、「そのトピックについて質問して、一度話させてから書かせると作文がうまくいくケースがある」などの助言がありました。

“日本語教室 in 黒部”代表の田中さんは、「ボランティア主体のグループとして、どこまで受講者の参加意識を高めることができるか、どこまで関わっていくべきかという兼ね合いをいつも考えています。続けることに意義があるんでしょうね。この制度は良い制度だと思います」と語られました。



国際交流員より離任のご挨拶！

とう りつほう 佟 立峰 (中国)

皆さん、こんにちは。私の名前は立山連峰の“立峰”です。いよいよ皆さんとお別れを告げなければならない時がきました。どこから書き始めたらよいのか、どんな事を書いたらよいのか…頭の中ではいろんな思い出が鮮明に浮かんできましたが、パソコンの前で啞然となってしまいました。

国際交流員の先輩や多くの人は、富山を去る時に、豊かな自然、美味しい海の幸、純朴で優しい県民に賛美の言葉を惜しみませんでした。自分はどんなに頑張ってもそれ以上のことを言うのは難しいことに気づきました。ああ～、言いたいことが山ほどあるのに…。

美しい富山湾、壮大なる立山。この海と山の間に住む普通の人々、しかし輝いている人々は自分に多大な感動を与えてくれました。この感動は、今も、将来も自分を支える大きな力になると信じています。いつかこの懐かしい土地に再び訪れることができればと思います。

日本ではお別れの際には「さよなら」と言うべきですが、敢えてここで“また会おう”という意味を持つ中国語の「再見(ザイジェン)」と言いたいと思います。再見！富山で出会った皆様！ありがとう！とやま！



きむ すへ 金 羞該 (韓国)

この度3年の任期を終え、富山を旅立つことになりました。今になってみるとあっという間に感じられますが、目を閉じて振り返ると、やはりたくさんの思い出が溢れてきます。

富山では大学時代に1年間留学をしたことがあり、最初富山に赴任が決まった時は、まるで故郷に帰るような感じでした。馴染んだ人々との再会、懐かしい風景、思い出の所々…。

着任してすぐ、国際交流員として任された仕事は、富山県の観光の魅力を韓国にアピールする韓国マスコミ招聘事業の随行通訳でした。仕事でありながらも、青空の下に雪に覆われた立山の姿や口の中であじわけるほど美味しい海の幸、和の雰囲気漂う五箇山など綺麗な自然に囲まれた富山の魅力に自分自身も感動し、富山に来てよかったなと心の中で呟いたことを今でも覚えています。

様々な仕事をしてきましたが、一番印象に残っているのは、やはり学校訪問や韓国語講座でした。暖かく手を握ってくれた子供たち、前教えた韓国語を忘れずに再会した時に無邪気な笑顔で声をかけてくれた高校生たち、天候が悪くてもはるばる遠くから来て一生懸命韓国語を勉強してくれた受講生たち…。数え切れないほどたくさんの出会いの中で、一人一人との小さな心の触れ合いがこれからも真の国際交流に繋がればよいなと思います。皆さんからもらったたくさんの優しさを大切に胸に刻み、国に帰っても頑張っていきたいと思います。今まで、本当にありがとうございました。



ちよう せんう 趙 泉禹 (中国)

来県の挨拶をしたのが昨日のこのように思われますが、あっという間に1年がたち、お別れを告げる時が来ました。

この1年間、私はとても有意義な日々を送りました。富山県は官民一体となって活発に国際交流・協力活動を行っています。そんな中、私は通訳・翻訳、中国語講座等を通して、自分の国では経験できなかったことをたくさん経験しました。

翻訳資料は多種多様で、いつも取り組むときは真剣でした。中国語講座は普段まったく気にせず使っていた自分の言語について新しく勉強する講座でもありました。そして中国文化を紹介し、交流する出前講座やお茶とルームでは、元気いっぱい日本の若者の中に溶け込み、とても楽しかったです。防災ラジオは、自分の声を電波に乗せて聴衆に届けるという、誇りを持って挑んだ経験でした。そのほか、盆踊り、茶道、弓道の体験、各地の祭り、イベントに参加するなど日本文化も知ることが出来ました。

穏やかな富山湾、雄大な立山連峰、美味しい海と山の幸に恵まれたこの「いきいき富山」での生活は、私にとってとても貴重な体験であり、一生の宝物になるものです。ここで私の同僚と友人をはじめ、私に惜しみないご指導とご支援を下さったすべての方に心より深く感謝申し上げます。謝謝(シェシェ)！



外国人生活相談

外国人のための生活相談

県内在住外国人が母国語で相談できるようになっています。下記のスケジュールで6か国語で対応しています。電話通訳サポート（トリオフォン）もご利用ください！

曜日	言語	時間	場所
月曜日	英語	13:00~17:00	(財)とやま国際センター TEL 076-444-2500
	中国語		
	ポルトガル語		
火曜日	中国語	12:30~16:30	
	ポルトガル語		
水曜日	ポルトガル語	9:00~17:00	
	英語	13:00~17:00	
	中国語		
	韓国語		
ロシア語			
木曜日	ポルトガル語	12:30~16:30	
金曜日	ポルトガル語	12:30~16:30	
	英語	13:00~17:00	
	中国語		
	ロシア語		
ウルドゥ語(第2,4)	14:00~17:00		射水市小杉庁舎201会議室



【電話通訳サポート】

外国人の方が直接専門機関に相談されたい場合、電話通訳サポートが利用できます。三者通話機を使い相談員が通訳をします。

電話通訳サポート専用ダイヤル 076-441-5654

こんなサービスが利用できます！

国際交流人材バンク

「通訳者」、「翻訳者」、「ホストファミリー」、「日本語指導者」、「海外事情紹介者」の5つの分野で活動いただける人材を募集し、また紹介しています。「日本語を教えて欲しい」、「通訳を探している」などの要望にお応えします。皆さんの登録、活用おまちしています！

国旗、民族衣装、ユニセフビデオ等の貸出し

122カ国の国旗、卓上旗、また各国の民族衣装、民族楽器、伝統遊具などを貸出しています。また、(財)ユニセフ協会製作のユニセフビデオの貸出しも行っています。学校の総合学習の時間や各種イベントにご活用ください。



多文化共生講座

外国人のための日本語ボランティア

とき：6月3日～8月5日 全10回
場所：環日本海交流会館
県内各地で日本語学習支援を行える人材

日本語ボランティアのスキルアップ講座

とき：9月～11月頃 全10回程度
場所：環日本海交流会館
地域の日本語教室などで既に活動してし
図るための講座です。今年度は「識字教
日本語教室において中心的役割を果た
ます。

平成22年度の(財)と

こうなります！

国際交流、国際協力、多文化共生
る(財)とやま国際センター。今年
利用をお待ちしております。ご紹介

外国語・外国文化を学ぶ講座

平成22年度の各国語講座

講座名	開催期間
中国語 (入門)	5/25 ~ 3/
中国語 (初級)	5/28 ~ 3/
中国語 (中級)	5/26 ~ 3/
韓国語 (入門)	5/25 ~ 3/
韓国語 (初級)	5/27 ~ 3/
韓国語 (中級)	5/26 ~ 3/
ロシア語 (入門)	5/27 ~ 3/
ロシア語 (中級)	5/28 ~ 3/
ポルトガル語 (初級)	5/24 ~ 3/

とき：上記の期間の18:30~20:00
場所：(財)とやま国際センター研修室

TIC国際理解出前講座

学校等に出向き、JICA、県内NGO等
在住外国人との交流等で国際理解の場
詳細は(財)とやま国際センターのホー

養成講座

木曜日 18:30~20:30

の育成を目指す講座です。

講座

いる日本語ボランティアの一層の資質向上を
“教育”をテーマに勉強会を行います。地域の
リーダーを育成するための講座も開催し

とやま国際センターは

に向け、様々な事業展開をしてい
度もたくさんの皆さんの参加、ご
介します！

講座

	曜日	対象	定員
15	火	初心者	40名
18	金	1年程度学習された方	40名
16	水	2年程度学習された方	15名
15	火	初心者	40名
17	木	1年程度学習された方	40名
16	水	2年程度学習された方	40名
17	木	初心者	15名
18	金	2年程度学習された方	15名
14	月	1年程度学習された方	15名

等の活動紹介、開発教育ワークショップ、
場を演出します。
ホームページをご覧ください。

外国人のための就活応援講座

とき：6月~10月頃 全10回程度

場所：環日本海交流会館

マナーなど、日本の会社文化を理解し、就職活動やより良い労働環境作りにつなげようという講座です。

外国語の絵本よみきかせ親子の会

とき：6月~11月頃 全12回程度

場所：環日本海交流会館

外国語の絵本の読み聞かせを通して、外国人親子が母国の文化に親しんだり、日本人親子が異文化を楽しむ講座です。



多文化共生理解教室

とき：年3回(7, 9, 11月頃)

場所：市町村の公民館等

地域に住む外国人住民を講師として、出身国の生活習慣や文化などを紹介する講習会を開催します。

“BOUSAI RADIO” 外国人のための災害情報提供

当センターでは防災意識の啓発を目的として5ヵ国語でのラジオ番組を制作しています。

FMとやま 周波数82.7MHz 毎週日曜日 20:00~20:10

*過去の放送はFMとやまのホームページ内のFM TOYAMA PODCASTINGで聴くことができます。

イングリッシュ・アドベンチャー

とき：夏季、秋季 各4回程度

場所：(財)とやま国際センター 研修室

高校生対象にゲーム等を通して楽しく英語や英語圏の文化を学ぶ講座です。

イングリッシュ・チャット

とき：毎月第1, 3水曜日 19:00~20:30

場所：(財)とやま国際センター

県内に暮らす外国人ゲストと、文化や習慣など様々なことについて英語でおしゃべりしませんか？

お茶っとルーム

とき：毎月1回 18:30~20:00

場所：環日本海交流会館

各国のお茶などを楽しみながらコーディネーターの国際交流員と気軽に交流できます。

夏休み子ども英語塾

とき：夏休み 全4回程度

場所：環日本海交流会館

小学生を対象に遊びを交えながら楽しく英語に親しむ講座です。

とやま国際塾

とき：7月中旬 1泊2日

場所：国立立山青少年自然の家

高校生を対象に、国際交流員、海外技術研修員、留学生等との交流をとおして国際協力、多文化共生について考えるセミナーです。

平成22年度JICAボランティア春募集説明会開催

平成22年度JICAボランティアの春募集の開始に伴い、下記の日程で募集説明会を行います。
予約不要、入場無料！お気軽にご来場ください。

募集期間：4月1日～5月17日

【青年海外協力隊】満20歳～満39歳

日時	会場
3月31日(水) 18:30～20:30	富山駅前CiCビル3階 富山市民国際交流協会 学習室
4月11日(日) 14:00～16:00	富山県民会館 706号室
4月24日(土) 16:30～18:30	富山駅前CiCビル3階 富山市民国際交流協会 学習室

【シニア海外ボランティア】満40歳～満69歳

日時	会場
4月11日(日) 10:30～12:30	富山県民会館 706号室
4月24日(土) 13:30～15:30	富山駅前CiCビル3階 富山市民国際交流協会 学習室

お問合せは…

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 インテックビル4階

(財)とやま国際センター 担当：竹中

TEL 076-444-2500 FAX 076-444-2600 Emai jicadpd-desk-toyamaken@jica.go.jp



今回はヨルダン・ハシミテ王国から届いた青年海外協力隊 片山 美穂さん からの便利をご紹介します。

アッサラーム・アレイコム（こんにちは）。私はヨルダン・ハシミテ王国で、理学療法士隊員として活動しています。「ヨルダン」「中東」と聞くと、何となく危険をイメージするかもしれませんが、ヨルダンは政治的には安定しており、いたって平和でのおんびりした日々を過ごしております。国内には世界遺産が3つあり、世界7不思議の死海もあります。私は死海の魅力にはまってしまい、既に6回も浮いてきました。通称、「死海隊員」です！国土の8割は砂漠ですが、ヨルダンにも四季はあり、雪も数回降りました。気温は比較的日本と似ていますが、降水量は少なく1年中乾燥しています。また国民の9割以上がイスラム教徒で、生活・言葉・行事・服装など、毎日至るところでイスラムの教えを感じます。

配属先は、首都から約100km離れたカラクという田舎町にある、国立の知的障害者入所施設です。活動内容に関しては「理学療法士協会富山県士会“会報とやま”」に3か月ごとに細かく書いていますので、もし興味がありましたら富山県理学療法士会のホームページ (<http://toyamapt.umin.ne.jp/>) を覗いてみてください。

さて、アラブ人は声が大きくなって喧嘩しているかのような会話の毎日です。今ではもう何にも思わなくなりましたが、「この人たち、怒っているのかな??」って最初はよく思いました。しかし実は、おもてなし上手で優しい人たちが多いです。お昼ごはんを食べに行くと、必ず「泊まっていけばいいのに」と誘われます。そんなヨルダンですが、障害者にとってはまだまだ生活しにくい社会です。ここでは、障害者をあまり外に出さずに家の中だけで過ごさせていることが多く、文化的にも障害者がコミュニティーに参加する機会はほとんどありません。ヨルダンの現状を知れば知るほど日本との違いに気づき悩むことも多いですが、入所者や障害当事者の未来が良い方向に向かっていくことを期待しながら、ゆっくりしかし着実に、一緒に一歩ずつでも前に進んで行けたらと思って活動しています。



片山 美穂さん

派遣国：ヨルダン・ハシミテ王国

職種：理学療法士

派遣期間：平成21年10月～23年10月

配属先：カラクリハビリセンター

ジョン ヘジン
田 恵真さん (立命館アジア太平洋大学 韓国入試担当)

Q. 今、どんなお仕事をされていますか？

A. 今私は韓国にある日本の大学の事務所で留学生を選考する仕事をしています。最近韓国の若者は日本の大学で勉強することが多くて、たくさんの方が留学しているんです。富山の大学でも韓国人が増えて県民の皆さんとの交流がもっと活発になってほしいですね。



Q. 韓国の近況について教えてください。

A. さてここで問題で～す。最近韓国で一番人気のあるお酒は何でしょうか？ 1. 焼酎 2. ビール 3. ワイン 4. マッコリ 正解は4のマッコリです。皆さんも味わったことありますか？ マッコリはお米で作ったお酒で、数年前までは田舎でおじいさんが飲むお酒という印象が強かったのですが、最近は若者の間で大人気なんです。マッコリが健康に良いということがよく知られたからです。それでマッコリのカクテルとかマッコリバーができて、いつの間にかお洒落なお酒と変身してしまいました。どうですか？ 皆さんも一杯飲んでみたくなったのでは？ 今度韓国に来たらきれいな色のマッコリカクテルに挑戦してみてくださいね！



Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 私のこと覚えていますか？ 私は2003年から2006年まで国際交流員でした。富山から離れてもう4年になりました。早いですね！

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. 私、この間結婚しました。これも富山との不思議なご縁といえますかね。主人とは富山県庁で働いていたときの仕事を通して知り合いました。彼は富山県と交流している江原道道庁の職員です。幸せな夫婦になり、富山に遊びに行きますね！

こんな“国際交流”やっています！

～“ラオス青少年交流事業” 南砺ラオス会(南砺市)～

南砺ラオス会は平成16年に設立され、以来、ラオスのイーライ村中学校を中心に図書館建設や文房具やオルガンを送ったり、また学生、教員の受入など両国の民間交流を進めています。

昨年10月末からは、ラオス国立大日本語学科2年のナッターリー・メッカシンさんを約2ヶ月の間受け入れました。ナッターリーさんは南砺総合福光高校の授業に参加し日本語を研修しました。また、喜志麻保育園では保育実習、デイサービス結では介護実習等をとおして職場体験も行いました。ナッターリーさんは「日本語をよく練習して将来父の仕事を手伝いたい。」と語り、富山大学を見学した後には留学の夢も新たにしたいようです。南砺ラオス会の皆さんは、温かい人柄のナッターリーさんに「今後ラオスと日本の友好の架け橋となってほしい」と語りました。

～TICから助成した事業をご紹介します～



中心がナッターリーさん

黒胡椒炒海鮮(海鮮の黒胡椒炒め)

悠久の歴史と広大な国土に育まれた多彩な中華料理。そんな中でも家庭でできる本格的な中国料理を皆様にご紹介します。日本のどこのスーパーマーケットにも売られている海鮮類を使って一度作ってみませんか?



～作り方～

1. エビの背腸を取り、イカを格子状に切り込みを入れて一口大に切ります。海鮮類は下味につけておく。
 2. パプリカは乱切りに、アスパラは斜め切りにします。
 3. フライパンに油を熱し、1を炒める。
 4. 2を加えてさらに炒めます。
 5. 味が絡まったら出来上がりです。
- * 海鮮類の代わりに鶏肉や牛肉を使ってもOKです。



～材料(4人分)～

ホタテ…………… 4切れ
エビ…………… 少々
イカ…………… 2個
パプリカ(赤、黄)…………… 1個
アスパラ…………… 各1/4個
黒胡椒醬…………… 少々
油…………… 少々

一下味一

片栗粉 少々
酒 大さじ1
醬油 少々
黒胡椒、塩 少々
豆板醬 少々

TICからのお知らせ

これからの行事予定

2010年度 第1回日本海学講座

トキの野生復帰の現状 ～佐渡の現場から～
5月29日(土) 13:30～15:00
県民会館401号室

日本海学研究グループ支援事業研究成果発表会

2009年度助成対象者11グループの発表
5月8日(土) 9:30～16:00
県民会館612、613号室

～草の根国際活動助成H22年度前期募集中～

国際交流・協力活動および多文化共生活動を実施している民間の非営利団体・グループ等が主催する事業に対し助成します。詳しくは当センターのホームページ「TICからの助成」をご覧ください。

ー締め切りは5月20日までー

(財)とやま国際センター賛助会員募集及び寄付のお願い

財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費(1口) 個人会員 3,000円
団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るため、寄付についてもよろしくごお願い申し上げます。

環日本海交流会館 図書新着情報

環日本海交流会館は国際交流の場として気軽にご利用いただける施設です。会議室、情報コーナー(インターネット、ビデオコーナー)、ミニキッチン等が利用できます。ボランティア室では、日本語関係の書籍2,000点以上が閲覧・貸出できます。また交流サロンでは異文化理解、語学教材などを多数そろえています。新しく入った図書を一部ご紹介します。

日本語を教えたい人のはじめての授業キット
ビミョーな違いがわかるコトバ辞典
マンガで学ぶ日本語表現と日本文化
マンガでわかる実用敬語
Harumi's Japanese Home Cooking(洋書)
バイリンガル漫画
"のだめカンタービレ"
英語で算数
心に響け、シェイクスピア
カガク英語ドリル

その他多数



環日本海交流会館

業務時間/月～金 10:00～21:00(水曜を除く)
土・日・祝日 10:00～17:00

(毎週水曜日、年末年始は休館)

〒930-0093 富山市内幸町6-6

TEL/FAX 076-444-7679

Email kaikan@tic-toyama.or.jp

URL <http://www.tic-toyama.or.jp/kaikan/kaikan.html>